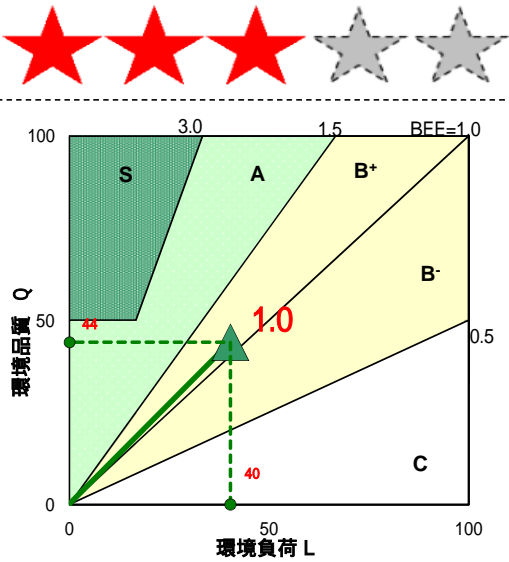


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

建物概要				外観	
建物名称	ロッキー益城農産物加工場新築工事	階数	地上1F		
建設地	熊本県上益城郡益城町大字古閑字	構造	S造		
用途地域	市街化調整区域、法22条地域	平均居住人員	100人		
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,000時間/年		
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2014年7月8日		
敷地面積	16,503 m ²	作成者			
建築面積	4,307 m ²	確認日	2014年7月10日		
延床面積	4,179 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果

建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



環境品質 Q

環境負荷 L

BEE = 1.0

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$


■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆














ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)



排出率

90%

2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価	評価点													
	75													
	評価点	熊本県重点評価基準												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	77.9	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td style="text-align: center;">  </td> </tr> </tbody> </table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	56.2													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	82.5													
【重点事項4】 循環型社会の実現	82.5													

評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。
 使用評価マニュアル：CASBEE 熊本《新築》2010年改訂版Ver.2 (SPVBE対応) 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ロッキー益城農産物加工場新築工事	階数	地上1F
建設地	熊本県上益城郡益城町大字古閑字	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法22条地域	平均居住人員	100 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	16,503 m ²	作成者	
建築面積	4,307 m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	4,179 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 Q (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

排出量: 40 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境 (敷地内): 2
LR1 エネルギー: 1
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境 (スコア: 2.6)

Q2 サービス性能 (スコア: 3.1)

Q3 室外環境 (敷地内) (スコア: 2.5)

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー (スコア: 3.4)

LR2 資源・マテリアル (スコア: 3.4)

LR3 敷地外環境 (スコア: 3.2)

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 (評価点 = 78)

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 (評価点 = 56)

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 (評価点 = 83)

重点事項4: 循環型社会の実現 (評価点 = 83)

重点事項の評価 (レーダーチャート)

排出量削減の推進: 78
安全安心で暮らしやすい社会の実現: 56
県の地域資源の有効活用と保全: 83
循環型社会の実現: 83

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 『ライフサイクルCO₂』とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補
ロッキー益城農産物加工場新築工事

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPIBEI対応)
 評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei\

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.31					2.6
1 音環境		2.2	0.15	-	-	-	-	2.2
1.1 騒音		4.0	0.40	-	-	-	-	
1 室内騒音レベル	【事務所】事務所:45dB(A)	4.0	1.00	-	-	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	
1.2 遮音		1.0	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		1.0	0.60	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能		1.0	0.40	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-	-	-	
2 温熱環境		1.8	0.35	-	-	-	-	1.8
2.1 室温制御		2.7	0.50	-	-	-	-	
1 室温		3.0	0.38	-	-	-	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	-	-	
3 外皮性能		2.0	0.25	-	-	-	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	-	-	
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-	-	-	3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-	-	-	
1 昼光率	【事務所】昼光率:2.9%	5.0	0.60	-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	-	-	-	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	-	-	
4 空気質環境		3.4	0.25	-	-	-	-	3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質	【事務所】F 使用	4.0	1.00	-	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	
4.2 換気		2.6	0.30	-	-	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	-	-	
2 自然換気性能	【事務所】0.075(1/15以上)	4.0	0.33	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	-	-	-	-	
4 給気計画		-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	【事務所】喫煙スペース(打合室)	3.0	0.50	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	-	-	3.1
1 機能性		2.4	0.40	-	-	-	-	2.4
1.1 機能性・使いやすさ		1.6	0.40	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-	-	-	
1 広さ感・景観	【事務所】執務スペース:6㎡/人以上で計画	5.0	0.33	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	【事務所・工場】給水・排水2種類にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.15	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備	【事務所・工場】 ・節水型器具の採用 ・可能な限り配管系統の区分	4.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備	【事務所・工場】 ・LAN、PHS通信設備 ・浸水の危険なし(地上設置)	4.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			4.0	0.29	-	4.0
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-
1	階高のゆとり	【事務所・工場】階高:5.0m	5.0	0.60	-	-
2	空間の形状・自由さ	【事務所】比率:0.13【工場】比率:0.06	5.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-
3.3 設備の更新性			4.1	0.38	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性	【事務所・工場】構造部材、仕上材を痛めることなく修繕、更新できる(天井点検口)	5.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性	【事務所・工場】仕上材を痛めることなく修繕、更新できる(天井点検口)	5.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性	【事務所・工場】室内露出配管、天井裏メンテナンス確保	5.0	0.22	-	-
6	バックアップスペースの確保	【事務所・工場】バックアップスペース確保	4.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.4
1	建物の熱負荷抑制	外部に面する壁屋根の断熱	4.0	0.03	-	4.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.28	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3	設備システムの高効率化	省エネ機器	4.0	0.42	-	4.0
	集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	#VALUE!	4.0		-	-
	集合住宅の評価		3.0		-	-
4	効率的運用		3.0	0.28	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.15	-	3.4
1.1	節水	【事務所・工場】 ・水栓(自動水栓) ・節水型便器(クリーン購入適合品)	4.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2	非再生性資源の使用量削減		3.4	0.63	-	3.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン	3.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	【事務所・工場】 ・軽鉄下地(分別可能)	5.0	0.24	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.22	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-
1	消火剤		-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)	【事務所・工場】 発泡系断熱材なし	5.0	0.50	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		リサイクル資材の活用	3.4	0.33	-	3.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-

	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2	風害・砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドライン項目の過半を満足	5.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE[®]熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

敷地周辺に5m幅の緩衝地帯を設けて緑化する。建物は低く抑えて前面道路から22m後退し配置する。

Q1 室内環境

- ・仕上材はF 建材を使用。
- ・打合室を喫煙スペースとし、施設内の空気質環境に配慮。

Q2 サービス性能

- ・事務所などの居室スペースは、ゆとりある天井高とした。
- ・設備系統はメンテナンスを考慮した計画とした。

Q3 室外環境（敷地内）

- ・敷地内に緑地を設け、暑熱環境に配慮した。

LR1 エネルギー

- ・外部に面する壁、屋根にはグラスウールを充填し断熱性能を高めた。
- ・高効率機器の採用。

LR2 資源・マテリアル

- ・節水型の衛生器具を採用。

LR3 敷地外環境

- ・行政指導により雨水は浸透井戸で処理し、敷地外への雨水流出抑制に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 ロッキー益城農産物加工場新築工事

評価ソフト: CASBEE-NCb_2010_kmt2011(v3.0)

使用評価マニュアル: CASBEE熊本(新築)2011年版

熊本県重点評価結果				総合評価点	75.4	
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
温室効果ガス排出量削減の推進				77.9	0.40	31.16
Q1-2.1.3	外皮性能	2.0	0.10			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.10			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.10			
LR1 1	建物の熱負荷抑制	4.0	0.01			
LR1 2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1 3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3 2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
安全安心で暮らしやすい社会の実現				56.2	0.20	11.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
循環型社会の実現				82.5	0.20	16.50
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	4.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

総合評価結果

$$\text{総合評価点} = (\text{各重点事項の評価点} \times \text{各重点事項の重み係数}) \text{の総和}$$

重み係数の総和は、「1」であること。

各重点事項(~ の項目)

$$\text{評価点} = (\text{各重点項目のスコア} \times \text{各重点項目の重み係数}) \text{の総和} \times (5/4) \times 20$$

重み係数の総和は、「1」であること。

(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数